

## 第 83 回 GAORA 番組審議会記録(2023 年 12 月開催)

第 83 回番組審議会が 12 月 11 日(月)に開催され、対象番組について審議を行い、委員の皆様から以下のご意見をいただきました。

<対象番組> ファイターズ超花火大会 ～超超超いい感じ 夏祭りレポリビューション～  
初回放送:2023 年 7 月 29 日(土)19:30～21:00

### <番組概要>

北海道を彩る短い夏、開業したばかりのファイターズ新本拠地・エスコンフィールドも夏本番。このエスコンフィールドで開催された「ファイターズ超花火大会」を完全生中継。オープンルーフの向こうに上がる花火と音楽によって、エスコンフィールドの新たな魅力や楽しさを生中継で描き出していく。花火を球場の様々なカメラ・様々なアングルで切り取り、北海道の夜空に打ちあがるダイナミックな花火ショーとしてお届けする。

また、ファイターズの前半戦を GAORA 解説者ファイターズ OB 岩本勉氏、鶴岡慎也氏と共に振り返る。ホームランを量産する 5 年目の万波中正選手にインタビュー、今季飛躍のヒミツを聞き出していく。そして、鶴岡氏が「後半戦のキーマン」として挙げた北山亘基投手にもインタビュー。「24 歳が描く理想の投手像」を浮かび上がらせ、リーグ戦中盤の状況分析から後半戦の展望へとつないでいく。

### <委員長総括>

■如何に現場の臨場感をテレビ視聴者に伝えるかが中継番組のポイントであり、今回の審議のポイントであった。委員から出ていない意見として、このイベントは「新しいエスコンフィールドでの開催」が売りであり、球場内からも観客が楽しめる企画であったので、「実際に行ってみないとわからないこの球場の構造上の特徴や素晴らしさをどのようにして伝えるか」が重要な要素であった。そのほか、MCの後ろが通路になっていた点は、何らかの対処をしてもよかったように感じた。是非、各委員のご意見をヒントにして今後のイベント中継に生かしていただきたい。

### <審議意見>委員の主な意見は次の通り

■今回の花火は 6 千発と迫力満点で、音楽とシンクロさせた演出にワクワクしながら視聴した。球場内外からのカメラワークに加えてドローンによる空撮もあり、花火を堪能することができた。視聴者にも、エスコンフィールドに行きたいと思わせるものであった。

前半はトークも少なく花火に集中でき、後半ではファイターズの前半戦の超プレー集や万波選手・北山選手へのインタビューと続き、今シーズンの活躍の鍵や彼らの人柄を知ることができて満足できる内容であった。ただ、ファイターズガールがなぜ射的をするのか、この点については付け足した感が否めない。

■花火のかか、スタジアムのかか、北海道のかか、とても見応えのある番組となっており非常に楽しめた。花火はもちろん、日が暮れていくエスコンフィールドのドローン映像が綺麗であった。スタジアム内から見える花火、スクリーンに映るファイターズ選手の活躍する姿、そしてドローンからの花火映像を、音楽に合わせて巧く映し出していた。番組冒頭の岩本氏の悪ふざけは、お祭り

ムードを盛り上げるための頑張りではあるが、これが彼のキャラだとわかっている、やや見るのがしんどかった。

- 花火と音楽のコラボレーションで、いい感じの映像になっていた。地元高校生との連携や球場でのスマホライトによる演出等、地元や球場内の一体感がよく伝わってきた。また、超プレー集はテンポがよく分かりやすい振り返りができていた。インタビューは見応えがあり、選手の思いがよく伝わってきた。

一方、「ドーン」と体に響く花火の音の効果をもっと上手く伝えられれば、より迫力が出たのではないか。また、花火の映像の切り替わりが早く、もう少しゆったりしたペースで見たかった。冒頭の花火までの10分が長く感じられ、ファイターズガールの射的は無くてもよかった。

- 花火はスポーツの生中継と同様に、今そこにはしかないもの、その場その瞬間の作品であり生で見てこそ価値があるものである。当日その場にいた観客、そしてこの番組を生中継でみた視聴者がどう評価したかが、一番聞きたいところだ。

花火は音が大事であり、その音の迫力をもっと伝えて欲しかった。また、ビジョンに映し出されていた映像を、放送に取り入れてもよかったのかもしれない。番組後半の選手インタビューは、それぞれ引き付けられるものがあって良かった。

- 番組の評価としては、「時間の使い方」と「花火の見せ方」に疑問が残った。

超プレー集による前半戦の振り返りはわかりやすかった。万波選手のインタビューでは画面割がカッコよく引き付けられ、元捕手の鶴岡氏から北山投手への質問内容もさすがに興味深かった。番組の構成として、花火大会、インタビュー①、ファイターズガール、インタビュー②と続くと、視聴者としては気持ちのアップダウンが激しくなりしんどかった。一案として、最初に前半戦の振り返りから後半戦へ向けた締まった野球話があった後、楽しい花火大会へ入っていけばよかったのではないか。エンディングは、時間が余ったのかトークで繋いでいる感が伝わり、他に何か手はなかったのかと感じた。

- まず、このようなイベントを企画演出するファイターズ球団の素晴らしさに驚嘆する。

番組としては、タイトルからモー娘感を打ち出しながらも牧野さんはVTR出演に留まり、逆にファイターズガールの使い方がもったいなかった。オープニングもエンディングも長過ぎた。花火大会の中継番組として90分の枠取りが必要であったのか再考してもらいたい。

花火の撮り方については、全国の花火大会の中継などで研究する方法はあったはずだと思う。岩本さんのテンションに視聴者がついていくのはしんどかった。更に、会場の盛り上がりで視聴者が追いついていけるような映像や工夫をもっと欲しかった。会場の観客とテレビの視聴者の間に、温度差を感じざるを得なかった。

#### [審議委員]

種子田穰委員長、影山貴彦副委員長、黒田勇委員、藤井純一委員、沢松奈生子委員、森本志磨子委員、樋口徹委員（以上7名）

GAORAでは、これらの貴重なご意見を、これからもより良い番組をお届けしていくために大いに活用させていただきます。

以上